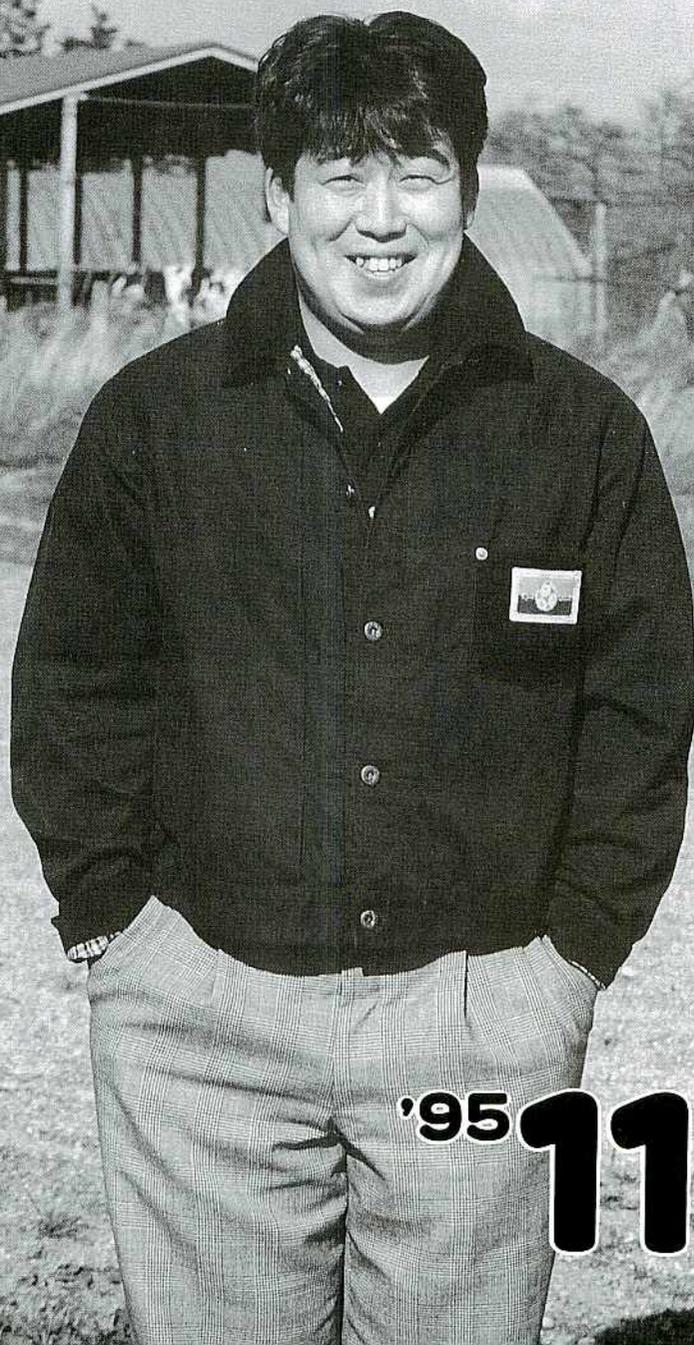


# のうきよう ちがしづ



'95

11

No.251

# のうきよう ちんぱつ

梅・竹・蘭とともに四君子の一つ  
とされ、菊。  
日本には奈良時代以後に伝えられ  
たとい、秋を象徴する花です。

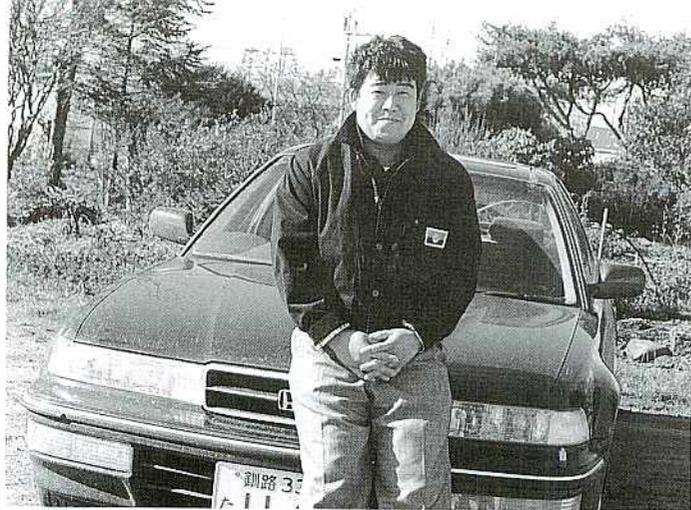


## もくじ

- 3 ———— <未来を担う若者>  
牛作りを基本に考えて  
南中 佐藤洋之さん
- 4 ———— いっそうの発展を期待  
第48回農協法公布記念日メッセージ
- 5 ———— Aコープ中標津店開店25周年大感謝祭
- 6 ———— <営農技術>  
農業改良資金の利用でワン・ランク・アップ
- 7 ———— 北海道ホルスタイン共進会
- 8 ———— <輝く女性>  
楽しい事は明日への活力に  
依橋 佐々木美佐子さん
- 9 ———— <組合長日誌>  
ヨーロッパ農業を視察して
- 10 ———— <ミルクタイム>  
開陽地区はどうなるの
- 11 ———— Jrホルスタインクラブ、パンプキン祭り
- 12~13 — 乳牛改良同志会府県視察報告  
同志会副会長 今井靖清
- 14 ———— 役員視察研修報告  
理事 土井上信一
- 15 ———— 全道Jrホルスタインクラブ交流会
- 16 ———— 平成7年度畑作物価格決定
- 17 ———— 理事会の経過
- 18 ———— <暮らしの知恵袋>  
健康な骨で健やかな生活を
- 20~21 — 今月のフォトアルバム
- 22 ———— 10月の組合日誌

# あす 未来を 担う若者

南中 佐藤洋之さん(23歳)



趣味は「牛です」と話す洋之さん

「酪農は良い牛作りが基本」と話す佐藤洋之さん、二十三歳。

現在、南中地区で乳牛九十五頭(内搾乳牛五十頭)を飼養し、年間三百五十頭の牛乳を生産する酪農専業農家です。

洋之さんは、地元中標津小中学校を卒業後は中標津農業高校に進

## 牛作りを基本に考えて

学。「小さい頃から牛が好きだったせいかな、何のこだわりもなく農業系の高校に進んだんです。先生には札幌の農業高校を推薦してあげると言われたのですが、家業を手伝いながらのほうが、勉強と実務と対比しながら覚えて行けると思いい、地元の農業高校にしたんです」と話します。

高校を卒業後は、本格的に酪農を継ぐべく仕事に打ち込んでいた矢先の事、突然、父信義さんが他界。洋之さんにとっては目の前が真っ暗になり、これからどうして行ったら良いか大変悩んだそうですが、母フサ子さんや地域の人たちにも

勇気付けられ、農業を継続して行く事を決意。

しかし、搾乳やトラクター、機械を使っている仕事はおおむねわかっていたものの、経営について何もわからず、大変困ったといいます。「特に営農計画や税金の申告など、仕組みや内容を把握するのに

大変でした。でもいつかは自分やらなければならぬ事なので、それが少し早くなったと思えばいいし、その分早く経営も覚えられ。また、自分のやって行きたい農業の近道にも継がるんじゃないかな」と洋之さん。

「今のところ将来については、あまり遠い先の事までは考えられないが、フリーストールやパーラーも頭の中に無いわけではない。でも現状の牛舎や施設がまだまだ使役できるし、改善しただいでもっと経営メリットを上げる事が出来ると思う。また、牛作りも経営の大きな基本、今、目標にしているのは



現在、作業効率を考えた飼調整室を建設中です

先を  
あせらず  
着実に

食い込みの良い、フレームのしつかりした十二月より十三カ月で、Aの出来る育成牛作り。この牛たちは経産になって、乳量アップにつながり、個体販売の面でも有益になると思う。僕の酪農は始まったばかりだが、あせらず一歩いっぽを着実に歩んで行きたい」と話す洋之さんです。

# いっそうの発展を期待

北海道農業協同組合中央会会長 阿部 忠 男

十一月十九日は、第四十八回日の農業協同組合法公布記念日であります。この法律は、協同組織による農民の地位向上を目指して、昭和二十二年に制定公布されました。

当時は、国民食糧の確保が何よりも求められる食糧難の時代で、

まず農業の振興が重要な課題になっていました。そしてJAは発足と同時に食糧の安定生産とともに組合員の社会的、経済的地位向上に大きな役割を果たしてきたのであります。

以来、農業は幾度となく大きな試練の中におかれましたが、その都度、JA運動を基調とした「相互扶助の精神」と「協同の力」でこれを克服し、今日の近代化に寄与してきました。

さて、今年の北海道農業は、一部に天候不順などもみられました。が、全体としては平年作のうちに移りましてあります。このまま「有終の美」を飾ることができましよう、改めて念願する次第であります。

そして今、わが国農業は「食糧管理法」に代わる「新食糧法」の十一月施行と、いま大きな転機を迎えております。新たな米管理システムの下の、JAグループとしての米の生産・販売対策を早期に確立することが求められることから、全国段階の重点要請に連動し、十一月下旬まで数次にわたる特別運動を展開しているところであります。

昨年、私たちは第二十一回道JA大会を開き、二十一世紀の本道



農業を展望した「新農業構想」を樹立いたしました。これからも組織の総力をあげて、その実践を目指す決意であります。

意義ある農協法公布記念日にあたり、この機会に私たちは、協同の理念を改めて考え、語り合っ農業、JAの一層の発展に努めるよう折念してやみません。



## 安田 稔さん 優良賞に輝く

全国土地利用型畜産経営コンクール



表彰後、経営発表を行なう安田さん

平成七年度土地利用型畜産経営コンクールの表彰式が十月十二日、宮城県、ホテル松島大観荘で開催され、中標津町当幌の安田稔さんが優良賞表彰を受けました。

この畜産経営コンクールは、全国公社営畜産事業推進協議会が主催、公社営畜産基地事業を実施し、自給飼料の生産基盤の拡大と生産コスト低減により経営の向上が計られている農業者を表彰するもので、今年が第一回目の開催となりました。このコンクールの入賞者は全国で五人、内北海道二人で安田さんは、みごと優良賞に輝きました。入賞発表会では、表彰状と副賞が授与され、安田氏は経営概要について発表されました。

ありがとうございます。

おかげさまで

**開店25周年**

安心と信頼、真心込めた3日間



25周年記念の紅白もちが事務所2階からまかれました



沢山のプレゼントに詰めかけた利用者も大喜び

# Aコープ中標津店 大感謝祭

Aコープ中標津店の、開店二十五周年を迎えた大感謝祭が、十月十二日から十四日の三日間開催されました。

同Aコープ中標津店は、昭和四十五年十一月一日に開店、以来JA組合員はもとより、町内消費者に生活用品の安定的な供給につとめてまいりました。

感謝祭のオープニングセレモニーでは、三友盛行組合長が「皆様

のご支援のもと二十五周年を迎える事が出来、心からお礼申し上げますと共に、今後も利用いただく皆さまの意向を大切に、生活用品の安定供給につとめて参りたい」とあいさつ。続いて、記念特別企画のもちまき大会が行なわれ、農

協事務所前に詰めかけた沢山の店舗利用者に、赤白のもちが配られました。

また、ラッキー賞付ビッグプレゼントとして先着三百人に、牛乳一リットル、プラス玉子一ケースや伯爵芋十箱、塩シヤケなどがプレゼントされました。

さらに生鮮超特選品コーナーや、店頭では秋の味覚、柿、りんご、みかんなどのくだものコーナー、その他、店内商品が大奉仕価格で販売されるなど、連日大盛況の三日間となりました。



店頭にも列をなしてお客様が来店しました

長年のご愛顧に感謝しての三日間でしたが、今後共Aコープ中標津店をご利用いただけますようお願い申し上げます。

# 営農技術

## 北根室地区農業改良普及センター

# 農業改良資金の利用で ワンランクアップ

営農計画書の作成時期を迎えました。

酪農経営を行なう上で、資金計画が経営を大きく左右しています。

そこで、今月は普及センターが窓口となっている制度資金、農業改良資金について紹介します。

一、借受者の条件、利子

○ 農業者または農業者の組織する団体

○ 無利子

二、貸付金の限度額

生産方式改善資金は八〇割、ただし畜産振興資金は九〇割。他の資金は農林水産省令で定める。

三、農業改良資金の種類

農業改良資金は大きく分けると次の五資金からなります。

① 生産方式改善資金

農業経営の改善のための能率的

な技術の導入を図るための資金と生産方式（作物、品種の組み合わせから土地・労働・労働施設の組み合わせなど）を改善する資金。

② 経営規模拡大資金

経営規模拡大を借地によって行なう場合、期間中の小作料を一括前払いするための資金。

③ 農家生活改善資金

農家高齢者の生きがいの充実、農村生活環境の改善を通じて、農家生活の改善を促進させる資金。

④ 青年農業者等育成確保資金

青年農業者などが農業の技術、または経営方法を習得するための、研修資金、経営開始資金。

⑤ 特定地域新部門導入資金

山村振興地域などで新たな農業部門の経営開始や新しい技術で高収益、高付加価値型の農業を始め

るための研修、準備資金。

四、貸付基準（例）

当管内で利用の多い、生産方式改善資金、畜産振興資金の基準を表一に示します。

五、申請から貸付決定の時期

期本は一年間に一回、営農計画作成時に借入れ希望、需要額調査が行なわれます。

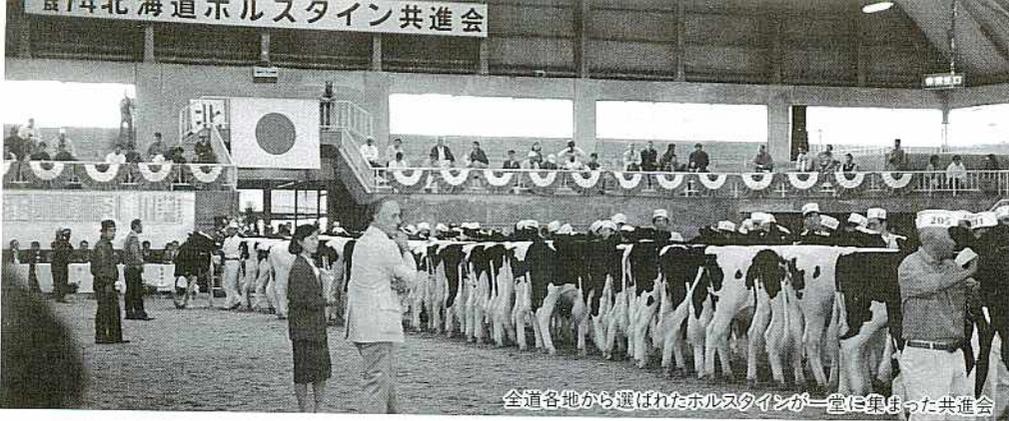
九千七百六十七万円

表1 畜産振興資金貸付基準

( ) は据え置き可能期間

資金の種類	資金用途	道の定める額	償還期限	貸付の相手方
(6)畜産振興資金	①飼料作物生産関係施設・機械	飼料作物面積10 <sup>2</sup> につき 酪農の場合 113千円 肉牛の場合 104千円 限度 11,100千円	10年(3)	農業者・のる 農業組織 団体
	②酪農関係施設機械(乳牛の飼養管理方法の改善による)生乳の品質向上)フリーストール牛舎・パーラー給餌車他	省力化1頭につき 317千円 限度 19,000千円 品質向上1頭につき 278千円 限度11,100千円		
	③乳牛購入	1頭につき 455千円	7年(3)	
	④肉用牛生産関係施設・機械	繁殖牛1頭につき 151千円 肥育牛1頭につき 261千円 ほ育成牛1頭につき 214千円 限度11,100千円 1頭につき 292千円	10年(3)	
	⑤繁殖雌牛購入及び繁殖雌牛育成(26カ月まで)	育成は1頭につき 125千円 限度 7,300千円	7年(3)	
	⑥肥育牛の購入(12カ月未満)	1頭につき乳用種 160千円 以外 292千円	5年(2)	
	⑦肥育牛の育成	1頭につき 147千円 限度61,400千円		

- ① 仮需要額調査、十月
- ② 需要額調査、営農計画時
- ③ 需要額取りまとめ、一月
- ④ 貸付決定内示、五月
- ⑤ 貸付時期、六、九、十二、三月
- ⑥ 平成七年度の借り受け実態
- ⑦ 借受件数、十二件
- ⑧ 借入れ額



# 北海道ホルスタイン 共進会開催される

全道各地から選ばれたホルスタインが一堂に集まった共進会

## 全日本ホルスタイン共進会に4頭の出品権

平成七年度北海道ホルスタイン共進会が、十月七日、八日の二日間にわたり、早来町のホルスタイン共進会場で開催されました。

今年第十回の全日本ホルスタイン共進会が千葉市で開催されることから、全道から三百八十九頭の乳牛が出品し、JA中標津からも十三頭の乳牛が出品しました。

審査員にはアメリカホルスタイン協会副会長のリチャード・キン氏を迎え、乳用牛としての機能性と優美性を競い合い、JA中標津は

### 入賞率も全道一の成績

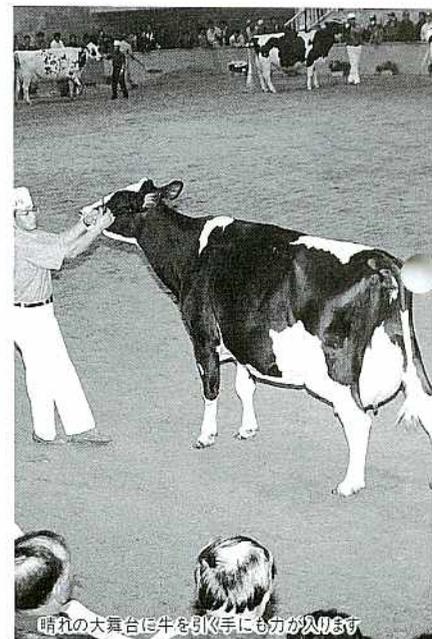
十一頭の乳牛が入賞し、入賞率八四・六割と全道一の好成績を上げることが出来ました。

なお、この中から、弾正原正さん、福嶋信一さん、川村清身さんの四頭の牛が千葉市ポート・ピアパークで開催される全日本ホルスタイン共進会に出品する事が決まりました。

全道でも一農協から四頭の牛が出場するのはJA中標津だけであり、「中標津ホルスタイン」の良いPRの場でもありますので、活躍を大いに期待したいと思います。

### JA中標津入賞牛

部	成績	出品者	名	号
1部	1等賞	久保 剛	イーエルブイ エバ	アンテシベーション
2部	1等賞	富沢 真	ティーエム クレイシン	トニー
3部	2等賞	佐々木昭雄	デコール マリーナー	ゴールド
4部	2等賞	福嶋 信一	ハッピーランド マスターバリアン	キッティ
5部	2等賞	久保 剛	アッドランド マラソン	スター マグ
6部	1等賞	弾正原 正	サニーデール ミスティ	レーモン
7部	1等賞	川村 清身	オレーター バリエント	コビーライト
8部	1等賞	弾正原 正	サニーデール トリプルバーク	
9部	1等賞	福嶋 信一	ハッピーランド バリエント	マット マリー
	2等賞	桜井 幸一	ミスティ ドリーム	バリエント
12部	1等賞	川村 清身	オレーター バリエント	コビーライト
			リバーレレッジ	ロックリンマ
			オレーター	



### 1995年 第10回全日本ホルスタイン共進会JA中標津出品者

第10部 5才経産クラス 弾正原 正  
 第11部 成年及び多回検定クラス 福嶋 信一  
 第12部 母系クラス(経産1組) 川村 清身

サニーデール トリプル バーク  
 ハッピーランド バリエント マットマリー  
 (オレーター コビーライト)  
 オレーター バリエント コビーライト  
 リバーレレッジ ロックリンマ オレーター

③  
ファイト&トライ

## 輝く女性

俵 橋  
佐々木美佐子さん  
(40歳)

昭和30年1月24日、中標津  
で生まれる。

俣落中学校卒業後、中標津  
町農協店舗に約5年勤め、23  
歳で結婚。

現在、乳牛85頭を飼養し、  
畑作(ビート)との兼業農家。

祖父、祖母、2男1女とご  
主人の7人家族。



# 楽しい事は明日への活力に



これからも色々な事にチャレンジしたいと意欲的な佐々木さんです

ただいま仕事に、そして婦人部の活動に活躍している佐々木さん。持ち前の明るさと元気で、周りのみんなを引っばっていきます。婦人部の役員をつとめて三年目、「視野を広めるにはとても良い所、もっとたくさんの方が活動に参加してくれば」と話します。もちろん仕事と婦人部の活動と

の両立は大変だと話しますが、「忙しい中で、仕事に対してのメリハリが付き、時間がうまく使えるようになった」とのこと。

けれど、やっぱり家族の理解があつてこそ。家族みんなが自然と協力しあっているから、色んな事にチャレンジできるようです。

家族それぞれ色んな所へ出掛ける事が多いそうですが、報告しあうのも楽しみのひとつと言います。「行事へ出て、楽しかったと思う事がひとつでもあれば、それで明日の活力にもなるのよね」といつでも前向きな姿勢です。

仕事でもご主人の昭雄さんと二人三脚で頑張る毎日。「牛舎へ行くのはお父さんが先。これは結婚した時から、ちゃんと守ってくれていることなの」と仕事のパートナーとして、最高のご主人であると話してくれました。

自分の育てた牛が、共進会へ出るのが楽しみと仕事にも意欲的。

これからもバリバリ働かなくっちゃ!とはりきっている佐々木さんでした。

# ヨーロッパ農業を視察して①

春の播き付け以来、一つひとつ作業の積み重ねが行なわれ、夏が無事過ぎ、木々の葉が色づき、稔りの季節を迎えています。

今年、馬鈴しよ、ビートなどの畑作物は、収量、でん粉価、糖分、それぞれ平年を上回る収穫が予想されています。

また、畑作物価格も前年同様で決定されました。

全道一丸となつての運動の成果ですが、政府の低価格化の政策は依然と続いております。この数年の間に個々の農家の内部検討、充実の期間になる様、農協も共に励んでゆきたいと願っています。

収穫の喜びと、作業の安全無事をお祈り致します。

九月末より十月始めにかけ、管内組合長会のヨーロッパ農業視察研修旅行に参加してまいりましたので報告を致します。

畜産環境問題をテーマとして、オランダ、デンマーク、ドイツ等スイス、フランスの五カ国をまわ

りました。

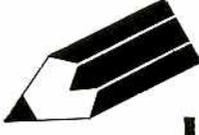
オランダ

日本の十一分の一の面積で、国土の四分の一が干拓によつて開かれており、経産牛頭数で、一・五

●今月のたより……

## 組合長日誌

代表理事組合長  
三友 盛行



フン、尿の還元が規制されており、リンの総量規制、面積当りの頭数の制限、半年以上の地下タンクの貯蔵、表面散布の禁止（地下注入式バキューム）、牧草の成長期のみ散布などです。

農家の事情よりも、規制が先にあつて、その規制をクリアするための対策補助、融資があるとの事でした。

一方で乳牛の改良対策は進んでおり、全国を一つの組織として、子牛は生後数日の内に、農家の電話により自動応答システムを通して耳標番号が登録されます。

この耳標によつて、個体識別、登録、検定、体審、人工授精、治療、屠場まで管理出来ます。

改良の目標はフリーストール、搾乳のロボット化を設定して、たんばくの向上、長命性、後肢、乳房の高さ、特に歩様に重点をおいでいました。体審の実際を見ましたが、体高は後部、十字部で測定し、大型は減点で百四十五センチを限度としており、後肢と乳房で決まってしまう、その実用主義に感じました。

五十畝の干拓地で、搾乳牛百十頭、総頭数二百十五頭、年間九百頭の農場を視察しました。

一頭当り、八千五百円でフリーストール、スラリ方式でした。農業所得は日本円で四百万円程度です。

ガット合意による農産物価格の低下と将来のため、コスト低減を目標に生産拡大、機械の大型化、環境対策、施設の増設と備えをしていました。優秀な農家ほど、生き残りをかけて対策をしていましたが、過剰な投資になりつつある様でした。

※ヨーロッパ視察内容は連載で次号に続きます。



オランダの一般的な酪農家の住宅前で

MILK

# みるく・たいむ

TIME

## 開陽地区は

### どうなるの！

標津のカモメより

私、標津前浜のカモメのジョナオと言います。最近の開陽地区の連中の行動を皆さんに知らせておきます。あれは九月十一日午前八時半頃、搾乳を済ませたいかにも牛飼といった顔つきの女性一人を含む七人が、標津の港に現われた。早出の釣り船は、ひと勝負終った頃である。どの顔も大漁の思いはなさそうだ、先に来ていたサラリーマン風の男に案内され乗船、漁場へ。会話は「今日は二桁に挑戦だ」とか情けない話である。思いに準備をしながら漁場へ、一斉に糸を垂らす、ボスらしい丸顔のサラリーマン風の男がヒット、次々と続く。終って見れば今まで

にない釣果に皆な上機嫌。次回を約束し解散。

九月三十日、前回同様に集合、

今日は十人参加。今日は少し表情が明るい、Oちゃん、Tちゃんの

声と共に「はずんで」いる。今日

もサラリーマン風の男三人も同行、

昨夜からの雨も上がり最高の釣り

日和り、順調に釣れている様だ。

マイベースの白髭の尊師の様な男

の顔にも笑みが見える。前回より

更に釣れている様だ。皆んな完全

に「ハマッテル」Tちゃん「今年

中に、もう一回やるべや」皆な同

調して決まり。仕掛けについても

語り始めた、本格的だ。

十月十四日この秋三回目、前回

腰痛と二日酔いの二人も加わり十

二人、船に乗り込むと釣師に変身。

今年最後とあって準備万端、気合

いも乗ってる。波は荒いがなんの

その、順調に釣れている。Oちゃ

ん、Tちゃんら静かだ、釣れる時は言葉をおすれるらしい。初めて

のY君いまいち「こつ」をつかめ

ていないが、そこそこ釣っている。

腰痛のKちゃんも順調だ。前方で

は船酔いで青ざめている人もいる。

大物釣りのYMさん順調、今回は

更に釣果が伸びている様だ。農協

が売りに廻った一万八千円の雨ガ

ツパを着込んだ身仕たく、顔つき

立派な釣師だ。帰り、船からは我

々に釣ったカジカを投げしてくれる、

その動きには少しずつ現実の牛飼

いに変身する過程を見ている様だ。

一時の快楽、そして現実、このギャ

ップの大きさがたまらないらしい。

風の便りでは十六日、開陽館で反省

会を開き、七十匹以上が何人かいた

とか。来年の子定も話したとか。更に

二人目の女性も参加するとか、地区



観客を魅了したミュージカル「僕のチケット」

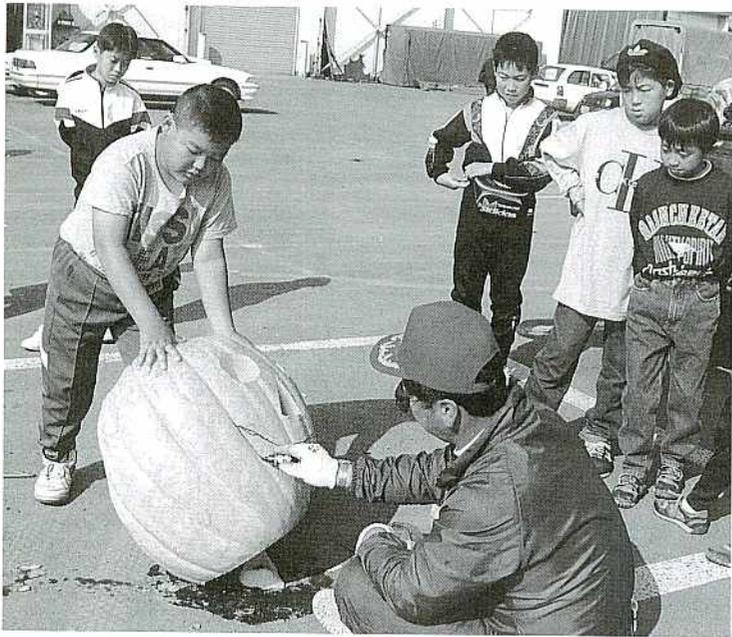
## 自分たちの町づくりを考える

地方文化の創造と発信

メナシウングル・トーク  
in 中標津

釧路、根室管内十五市町村のまちおこしに関わる人々が参加して「メナシウングル・トーク in 中標津」(笠原康博実行委員長)が十月七日開催されました。

この催しは、両管内の町づくり団体の人々が地域の活性化を目指して意見や情報を交換、交流を深



ハロウィン作りも楽しいものです

# 実りある秋の 収穫祭

Jrホルスタインクラブ・パンプキン祭り

中標津町農協ジュニアホルスタインクラブ主催による、パンプキン祭り（おばけかぼちゃ収穫祭）が、十月十四日農協駐車場で開催され、ハロウィン作りやアトラクションで交流を深めました。

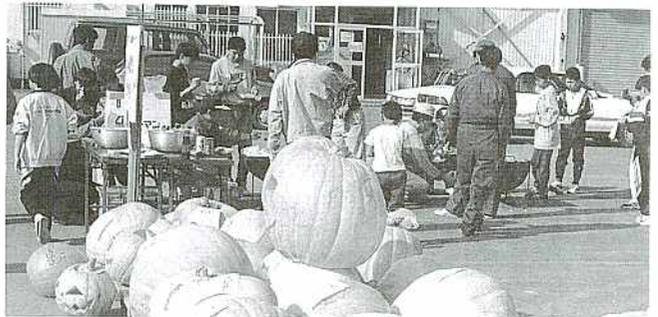
この祭りは、同クラブ員が春から丹精込めて育てあげたかぼちゃ（アトランチックジャイアント）を一同に集め、重さやハロウィー

ン作り、観察日記などを紹介し収穫の喜びを語り合うもの。当日は大小さまざまなかぼちゃ

三十五個がコンテストに出品され、

重量の部では昨年を九割上回る、遠藤康宏さん出品のかぼちゃ七十五割がチャンピオンに輝きました。また、カボチャの中をくり抜き目、鼻、口を作る、ハロウィン作りやかぼちゃの重量当てクイズなどのアトラクションでの交流、昼食では父母と一緒に焼肉やおしるこで舌鼓を打ち実りある秋の収穫祭

## ■ おばけかぼちゃのコンテストも



沢山のカボチャを前に行なわれた収穫祭

となりました。

### コンテストの結果

#### ○重量の部

- 一位 遠藤康宏 七十五割
- 二位 佐々木恵 七十三割
- 三位 遠藤樹里 六十六割

#### ○ハロウィンの部

- 一位 松本 昌志
- 二位 広瀬寿樹
- 三位 広瀬哲也

○観察日記の部 優秀賞・尾藤智子

める事を目的に行なわれるもので、今回は、開町五十年を迎えた中標津町で開催。町民創作ミュージカル「僕のチケット」を通じて、「地方文化の創造と発信」をテーマに開かれたもの。

トークinでは、町総合文化会館で「僕のチケット」が上演され、トークin関係者を含める約八百人がミュージカルに魅了。

公演後は、会場をトーヨーグランドホテルに移し、各地の団体からの活動報告や、参加者同士の意見交換が夜遅くまで語り合われました。



メナシウソクトルーク/ル中標津

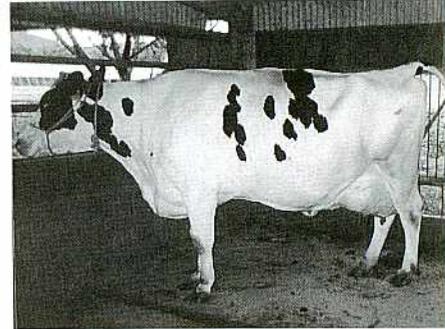
交流会では各団体の意見交換が行なわれました

九月十六日より十九日にかけて、兵庫県洲本市酪農協と徳島県土成町に会員五人、中標津町一人、農協一人の一行七人で視察研修し、交流を深めることができました。今回の視察は九月十七日に行なわれる洲本市畜産共進会の乳牛部門の審査と、その後の毛刈り講習会の講師が大きな目的でした。また、

# 良い牛作りは高価格につながる

## 中標津産牛は高い評価を実証

乳牛改良同視会府県視察  
乳牛改良同志会副会長  
今井 靖清



中標津から導入された乳牛、体型、乳量とも高評価です

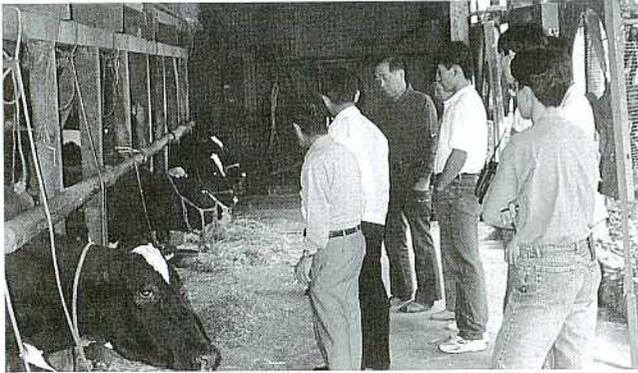


府県視察のメンバー全員で

その後、会員の乳牛の追跡調査を行ないました。

大型台風12号が関東地方に接近の情報の流れる中、十六日に中標津を出発しました。関西空港へは台風の影響で、約三十分の遅れで到着。関西空港から淡路島まで四十分間の（海が荒れて波が高く、気分の悪いのをいかにはぐらかすか懸命な思い）高速艇で現地に到着しました（やはり洲本は遠い、牛達も大変な思いで移動しているのだと思った）。

その夜、洲本市酪農協の副組合長始め、多数（役員）の方々と会食となり、その席で共進会が台風



中標津から導入されている牛の追跡調査に各農家戸々へまわります

の影響でグラウンドに家畜車が入れず延期になったと聞き、一行一同、啞然としてしまいました。

これからも本州の審査に行く事が多くなると考えられるので、事前に充分な話し合いに時間をかけるなど反省させられました。審査員を予定していた南中・桜井幸一さんには申し訳なく、また残念でなりません。

十七日は共進会が中止となったため、洲本市酪農協を訪問、農協プラントなどを見学。生乳に対する品質管理は学ぶものがありました（本州では最も乳質が良い）。中標津も一つの方向性として飲

用乳供給地帯となるならば、今から学んで知識を積むことが必要であると痛感しました。

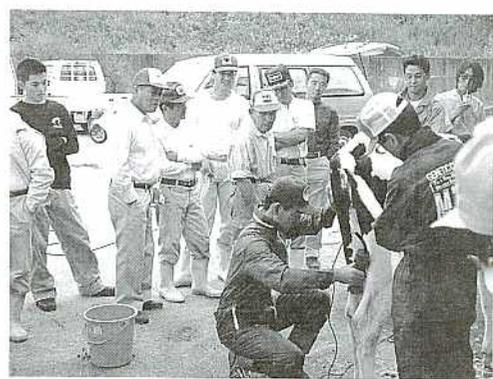
その後、十時頃より農協施設を会場として、毛刈講習会が行なわれ当幌・福村稔さん、依橋・福嶋信博さんが毛刈りの実践、桜井さんの説明で進められました。約三十人程の見学者の中で、最初は遠くで見ていた人も段々と牛に近くになり、質問なども出て講習会も盛会の内に終了致しました。今後の形としては、参加者自らバリカンを持ち、実際に指導を受けながら（一方通行的でなく）実践的な講習会にしていった方が、より有意義で

あつたと思います。

午後二時頃より十三件の牛舎、牛を見学し、中標津から導入された牛を一頭一頭見学しました。フリーストール牛舎が数件あり、フリーストール牛舎の牛は繋ぎ牛舎と比較すると、やはり牛が良かった(特に足)。視察農家に共進会出品予定の牛が繋がれてあり(四才級、五才級、共に共進会では成牛クラス)、全員がなめるようにして牛を見ていました。一人ひとりが審査員の立場ならどうするか、どっちの牛が上かと話し合っていました。他の牛を見てからも二頭の牛の周りに集まり、さらには外に引き出して比較審査が始まりました。フット周りを見ると山に陽が落ち薄暗くなつていく中、各部位の比較で話しが進む。この時の思い出が一番今の私に残っています。

夜八時より当地の改良研究部会約三十人の人々と交流会が持たれ、フグ鍋などに舌鼓を打ちました。翌日は一路徳島県土成町に畜産業の柴田さん、井上さんの案内により四件の牛舎、牛を視察しました。洲本と違い、畜主が各個体を把握していないので、山のような登録書の中から中標津の牛を探さなければならず、大変時間がかかりました。最後に行った井上さんの経営方針には深い感銘を受けました。中標津から経産牛を買い付け(全て中標津)一年から一年半搾乳し、(その間は種付しない)一日三回搾乳、今年はずつと目標にしているということでした。

各農家を訪ねて感じた事は、その人の考え方、精神などがはっきりりとし、形態として表われているなあと思えました。地元に戻り、日常の生活や経営に注意を払わなければならぬと考えさせられました。車中での話しの中で、血統の良い牛を育成しても、中標津から買った牛にはかなわない。それが年に二、三回中標津に行く理由だ」と言われ、今後牛を買いに行くという力強い言葉を頂きました。



盛会に行なわれた毛刈講習会

井上さんの近くにブドウ畑があり、ブドウ狩に行きました。一行この視察で初めて味わう憩いの時、ブドウ棚の樹陰が心地良く、今年の猛暑で甘味良好、一房二房と鳥獣除けの爆音を聞きながら味わうブドウは、大変おいしいものでした。二時過ぎより昼食をとりながら冷たいビールで暑さをいやし、交流(四国の人はアルコールが強い)。このビールが夜まで響き、初めて七人だけの食事となりましたが、疲れが溜まっていたせいかな軽い食事で盛りあがらず、早速ホテルにて睡眠に入りました。徳島の酪農家とは四件ということで、十分に話し合いが出来たのは有意義でありました(洲本での十三件の視察は、日程的に今後考える必要があると感じました)。今回二カ所を視察し感じたことは堆肥の処理です。洲本では稲穂を付けたまま倒れている田んぼを所々見かけました。説明によると狭い土地に多量の堆肥を投入した結果、窒素加多により倒伏、堆肥の処理に公害の問題を含め、全力で解決し続けていかなければならない状況を感じました。

一方、徳島については、野菜農家に堆肥を提供し処理、特にレタスはいくら堆肥を入れても問題がないとの事(足りない位)。田んぼを見ても倒伏した稲を見る事はありませんでした。北海道も堆肥の処理はいろいろの問題となっており、全国各地の堆肥の処理の仕方について勉強していかなければならないと感じています。

今回視察し感じたことは、良い牛を作っていけば良い価格で売れるということ、それはごく一部の酪農家ではなく、全酪農家がめざす事の出来ることではないかと思いました。もし、このような機会があればもう一度参加し、いろいろと勉強していきたいと思えます。

# 近い将来直面する 店舗運営と合併 を考える

役員視察研修報告 理事 土井上信一



ホクレン直営店、中の沢店を視察

将来の店舗運営と農協合併の問題、全道共進会の視察を主たる目的とした役員研修が十月七日から三泊四日の日程で行なわれました。

一日目は、Aコープ店舗のレギュラー方策について、ホクレン本所店舗指導課の築紫考査役よりAコープ店を取り巻く情勢と流通業界の動向、視状と課題、運営強化と再構築など多岐にわたり本部の考え方など聞かせていただきました。

Aコープのレギュラー化とは、ホクレンと農協が共同出資し、株式会社として農協運営から切りはなしてしまおうという考えであります。私はこれにはまだ多くの問題点があり、じっくり考えていかなければならないと感じてまいりました。

その後、ホクレンの直営店である中の沢店を視察いたしました。

ここは、札幌市の南部に位置する新興住宅地域で、高層マンションや市営住宅が建ち並び、人口約四万人と非常に恵まれた環境にありましたが、一方では「ニチイ」や市民生協などの競合店もあり、激戦地域でもあります。売場面積三百八十九坪、レジは六台で年間売上げ目標は十二億ですが、十五億く

らいまで上げたいとの事でした。

ここで感じた事は、社員数をおさえパートとアルバイトを多くし、人件費をおさええている事と、バックヤードをあまり大きく取らず、出来るだけ在庫量を少なくしている点でした。また、ここでは異業種である薬の安売店をテナントに入れ、相乗効果が上がっている点など参考になりました。

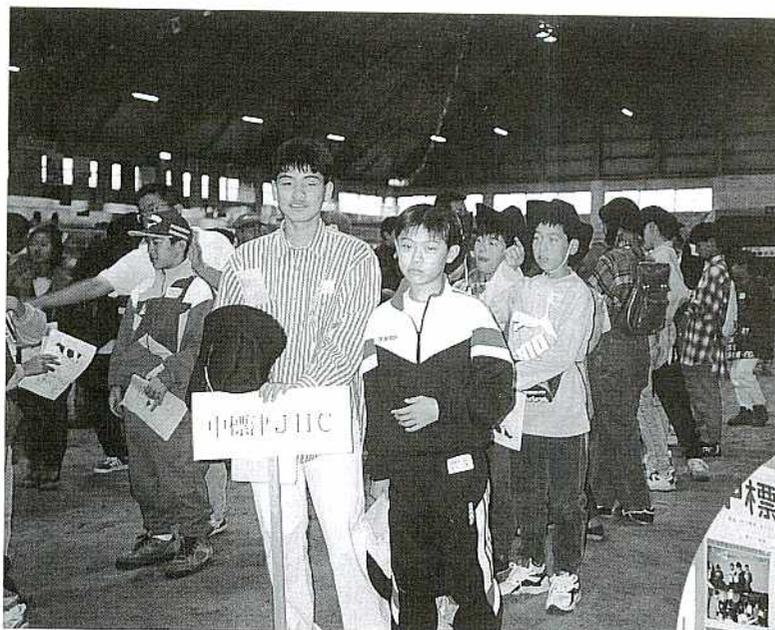
二日目は、全道共進会を視察、当農協の出品牛が輝かしい成果を上げた事に対し、出品者の皆様方のご苦労とご努力に心から敬意を表したいと思えます。

三日目は、昭和六十二年に広域合併を行なった「とうや湖農協」を視察。渡辺組合長、上村参事から合併についての経過や「メリット」「デメリット」など素直な話しを聞きました。「大きな支所」「小さな本部」というキャッチフレーズでスタートしたそうですが、地域経営の形態が種々雑多であるため（作物別各部署が多い花、畑、イネ、果樹）、組合員のサービスマンなどの点で職員数を減らす事も難かしく、思う様な合理化メリットが出ないというのが実情の様に思いました。



ホクレン本所では、これからのAコープの運営問題など話し合われました

合併については役員の皆様が色々考えさせられる面、感じた事が種々あったと思います。今回の研修は近い将来直面する課題であり、意義深い研修になったと思います。



全道の仲間と交流を深めたJrの交流会

## 全道Jrホルスタイン クラブ交流会

写真コンテストに上位入賞



全道のクラブ活動紹介も行なわれました

# 酪農の学習と

# 仲間づくり

全道ジュニアホルスタインクラブ交流会が十月七日、八日、早来町で開催された全道ホルスタイン共進会の中で行なわれ、全道九クラブから約百人の会員が参加。根室管内からは二十七人、(中標津十二人)が参加し、交流会やジュニア特別クラスの観戦、写真コンテスト結果発表などが行なわれました。ジュニア特別クラスは、共進会二日目の第一部に開かれ、全道から十八歳未満の青少年が生後九ヶ月十二カ月未満の牛を引くクラスで、十二頭が出品、大人顔負けの引き方は大好評でした。

また、交流会では各クラブ員が入り交じったの各種ゲームなど、酪農の学習と仲間づくり交流が行なわれました。

写真コンテスト結果

金賞一席 アースイースト マツクスゴールド 佐々木 恵

金賞二席 メドレー パリス アパッチ 弾正原なつみ

金賞四席 アースイースト マツクス マスター佐々木尚洋

銀賞二席 アースイースト ジャ

ンヌ ミステイ佐々木宏之

## 国有払い下げ馬 真部さんが当選

平成七年度国有払い下げ馬の抽選会が十月三十日、農協中会議室で行なわれました。

抽選会には、購入希望者五人が集まり厳正なる抽選の結果、みごと俣落地区の真部愈さん(当日は奥さん)が抽選で当選いたしました。

今回払い下げられた馬は、ペルシュロン種の牝、二歳、名号は波地(ハチ)で父克慈、母洋沼の血統的にも優れた馬で、価格は二十七万三千四百七十円となっております。



当選のキップを手に喜ぶ真部さんの奥さん右と実習生

# 平成7年産 4年連続の据置き 畑作物価格決定

生産者意欲に配慮

平成七年産畑作物の生産者価格は四年連続の据置きで決定しました。しかし、てん菜糖の事業団買入れ価格は前年に比べ一・三割の引下げとなり焦点の一つになっていた、てん菜の基準糖分帯は現行どおりとなりました。

七年産畑作物価格は例年に比べ

さほど難航せずに据置きが決まりましたが、ウルグアイ・ラウンド対策初年度とあって、生産者が不安を抱く状況下での引き下げは「農政不信を招く」との政治的判断があつたものと思われ乳価、米価とも同様な結果となっています。

畑作三品においては、農業バリエーション指数や六年産、生産費の下げ数字からすると今年は樂觀で見る状況にはありませんでしたが、政府は今年度生産者価格の据置きに応じたのは、特殊事情を配慮したのことと言っており、場当りのな対応が目立っています。



生産者が真に求める畑作物の将来展望は、必ずしも見えてきません。馬鈴しょ澱粉においては加工澱粉などの輸入増加により、六年産全道共計精算も十一月にずれ込むなど流通、販売価格に大きな影響が出て来ております。今後、澱原馬鈴しょの生産や澱粉工場においても一層のコスト低減と、合理化努力が迫られる状況となっております。

7年産畑作物の価格決定 関係分掲載

▲はマイナス

	畑作物品目	7年産	6年産	対前年比
てん菜	最低生産者価格	17,310円	17,310円	据置き
	てん菜高能率計画生産推進費	190円	190円	据置き
	生産者価格計	17,500円	17,500円	据置き
	てん菜基準糖分帯	16.6%~16.9%	16.6%~16.9%	据置き
	てん菜糖の事業団買入価格	175,646円	177,963円	▲ 1.3%
馬鈴しょ	原料基準価格	14,410円	14,410円	据置き
	馬鈴しょ澱粉買入価格 (25kg 1袋当り)	114,320円 (2,858円)	114,320円 (2,858円)	据置き



# 暮らしの

## 知恵袋



健康な骨で  
健やかな生活を

北根室地区農業改良普及センター

高齢化社会の現在、骨の健康に対する関心が高まっています。腰痛、肩痛、膝痛、肘痛、骨接などで日常生活にさまざまな支障を来している人は少なくありません。これらは骨の異常から由来する病気ですが、骨の異常がさらに進み寝たきりとなった場合には、本人、家族、社会の負担は大きなものとなります。健康な骨を保ち、健やかな生活を送ることができるよう、十分に対応することが大切です。

### 骨粗鬆症になりやすい人

骨の異常のなかでも骨粗鬆症が多くを占めており、それに対する対策が必要です。骨粗鬆症とは、長年にわたって骨からカルシウム

が徐々に抜けていき、骨が入った状態になって足腰が痛くなったり、骨接したりする病気ですが、高齢者、女性に多くみられ、深刻な社会問題となっています。特に、やせ形の人、偏食気味で特に乳製品をほとんど取らない人、運動不足の人、過労・ストレスの多い人、タバコ・アルコール摂取量の多い人、消化管の手術をした人などがなりやすいと言われています。また、最近では若い世代にも多く、特に急激なダイエット経験者に多いようです。

骨は二十歳ごろまでにその大きさが決まりますが、骨接度は三十五歳ごろまで増加します。そのた

め、三十五歳ごろまでに丈夫な骨を形成し、以後はそれを維持するように努めることが大切です。骨の主成分はカルシウム、リン、蛋白質であり、このうち日本人が比較的摂取しにくい成分がカルシウムといわれます。

厚生省国民栄養調査によると、栄養所要量に対するカルシウムの充足状況を見てみると、カルシウム摂取量が所要量（一日あたり六百mg）の八〇％未満の人々が四〇・九％もあり、カルシウム不足に起因する不足症状を示す人々が確実に出現することを示しています。

特に若年層に食生活のみだれ、（朝食欠食率五九％、食事の片寄り）から、十九歳以下のカルシウム摂取量は極めて少ないそうです。骨粗鬆症の予防

食生活においての予防法として、カルシウムをいかにしてとるかということが重要になってきます。

食品中のカルシウムは、すべて成分どおりに吸収されるわけではありません。食品によって吸収率にも差があり、小魚は三〇％、青菜は一八％、生乳は五〇％です。牛乳にはカルシウムの吸収率を高める蛋白質や乳糖が含まれているため、ずば抜けて高いのです。また、チーズなど乳製品はどれをとっても優れたカルシウム食品です。また、表のようなものに多く含まれています。ただ、カルシウムの摂取にだけ注意して、食生活全体のバランスが好ましくないことになってはなりません。バランスのとれた食生活こそ大切なポイントでしょう。

また、骨粗鬆症の予防としては、運動、ストレス、生活様式などに配慮することが重要です。

老後のため、またいつも健康であるように、食生活はもちろん生き生きとした生活を心掛けたいものです。

表1 おもな食品中のカルシウム

食品名	カルシウム (mg)
乳	27
普通牛乳	100
ゴーターチーズ	680
ゴーター	15
鶏卵 (全卵、生)	55
真あじ (生)	65
真鮭 (生)	14
(しらす干し)	530
いわし (生)	75
まなご (生)	95
いなか (生)	18
いご (生)	16
真だえび (生)	70
伊勢牛肉 (リブロース、脂身つき)	4
豚肉 (ロース、大型)	4
鶏肉 (むね、皮なし)	5
若鶏	5
にわと (肝臓)	5
精大ご	6
白豆 (乾)	240
豆 (乾)	1200
ま (菜、乾)	290
しいたけ (乾)	12
しい (生)	1
まいりの	390
昆布 (真昆布、素干し)	710

# 平成7年度 秋の総合検診

日程 11月30日(木)・12月1日(金) 受付時間 午前7時～午前10時  
場所 中標津町保健センター

主催／中標津町 後援／保健会



持参する物… 尿・健康手帳・胃がん・肺がん  
口腔検診問診票

対象	検査内容	料金	申込〆切	注意事項	結果
成人 病 検 診	●身長・体重測定 ●問診・血圧測定 ●尿検査(たん白・糖・潜血) ●血液検査 (糖尿病・高脂血症) (肝臓病・腎臓病・貧血) ●心電図検査 ●医師の診察	<b>1,700円</b> , 70歳以上の方 生活保護受給 者は無料 ※中標津町農 協組合員は 850円です。 (半額補助)	11月21日(火) まで地区の保 健推進員さん に申し込んで 下さい。 保健推進員さ んは、11月22 日までに保健 センターに電 話で申し込ん で下さい。 ☎(2)2733 FAX(2)7964	●前日の朝食から脂肪の多いもの、夕食からアルコール類はとらないで下さい。 ●朝食はとらないで下さい。 ●高血圧・心臓病・腎臓病・肝臓病・高脂血症などの病気で通院中の方は受ける必要はありません。	1 カ 月
胃 が ん 検 診	バリウム検査	<b>1,200円</b> 70歳以上の方 生活保護受給 者は無料 ※中標津町農 協組合員は 600円です。 (半額補助)		●前日の夜10時以降は飲食は一切しないで下さい。 タバコも吸わないで下さい。 ●胃の病気で通院中の方は受ける必要はありません。	位 か か
肺 が ん 検 診	●胸部レントゲン検査 ●喀痰検査 該当者 ●血痰の出る者 ●年齢が50歳以上で喫煙指数 (1日の本数×年数)が600以上の者 ●咳・痰が1か月以上続くもの ●年齢50歳以上で空気の汚れた職場にいる(いた)者	<b>500円</b> 喀痰検査をする場合は、その他に1,100円です。 70歳以上の方生活保護受給者は無料 ※中標津町農協組合員は250円です。 喀痰検査は550円です。		り ま す	
歯 科 相 談	どなた でも ●歯科衛生士による相談	無 料	当日直接会場 に来て下さい	●検査当日は心ず歯みがきをしてきて下さい ●入れ歯の方は必ずおもち下さい	
エ ク ス ノ 症 検 査 コ ツ ツ	5年以上 検査を受 けていな い方など なたでも ●血液検査	無 料	〃		

中標津町保健センター



天気も良く心地良くプレーが行なわれました

## パークゴルフで地域交流 酪対開陽支部

開陽地区酪農対策協議会(土井上昭男支部長)主催によるパークゴルフ大会が10月11日、町森林公園パークゴルフ場を会場に開催されました。

この大会は、開陽地区の交流、活性化を目指し、厳しい酪農情勢の中、酪農を志す仲間が明るく楽しめる場を少しでも作り出そうと行なわれたものです。

大会には会員夫婦約30人が参加し、午前中いっぱいグリーンの芝生でプレーを楽しみ、午後からは、焼肉パーティーと大会の表彰が行なわれました。



みごと女性の部優勝の高平さん

# フ オ ト ア レ ズ ム



全員で運転操作をチェック、むずかしいローダー作業

## 機械操作の レベルアップを

(有)ファム・エイ 機械技術研修

酪農ヘルパー業務を行なう(有)ファム・エイ(日井勝也社長)では、ヘルパー業務の円滑化とレベルアップを図る事を目的に、機械技術研修を10月11日、当県・長正路牧場を会場に行なわれました。

この研修は、ヘルパー業務で餌給与などトラクターを運転する作業が多い事から、特にけん引、ローダー作業の技術向上を中心に行なわれました。

研修では、社員1人ひとりがトラクターに乗り、熟練した社員の指導を受けながら、自分が納得行くまで何回もチャレンジしていました。



けん引のバック操作が一番むずかしい  
なかなか思う様にいきません

## 地域、家族の つながりを密に

●  
南俵橋地区収穫祭



収穫の喜びと地域の交流を図る南俵橋地区の収穫祭が、10月14日俵橋生活館で開かれました。南俵橋地区は昭和42年に32戸の農業者が入植、その後52年に入植10周年記念を開催。これをきっかけに、入植者家族同志の交流を深め、地域をつなぐを密にして行こうと始まったのがこの収穫祭。現在は21戸の酪農家で形成され、2番草の収穫が終わり、冬仕度前のこの時期に例年開かれています。収穫祭では、午前中、俵橋小学校グラウンドでミルクボール大会の交流。続いて焼肉を囲んでの昼食会やリンゴの皮むき大会、ジャンケンゲームなどが行なわれるなど、関係機関を含め約40人の家族が集い、1年間の無事を祝うと共に情報交換、親睦交流の場となりました。



奥さんも多数参加して楽しい一日です



おいしいリンゴを土産に参加者皆さん楽しそうです

## 楽しいリンゴ狩り 開陽酪対婦人部研修旅行

開陽酪対婦人部では10月19日に親睦をかねた日帰り研修旅行を実施しました。女性9人プラス男性6人で、雲ゆきあやしい天候ではありましたが、元気に開陽を出発、目的地の網走へと向かいました。

今回の研修旅行のメインは「リンゴ狩り」。



根北峠を越えた頃には、晴れ間も見えてみんなホッとひと安心。

網走の観光フルーツ園へ無事到着し、見事になっているリンゴをほおばって和気あいあい。食べ放題の言葉につられ、リンゴでお腹をいっぱいにした1日でした。

## 10月の 組合日誌

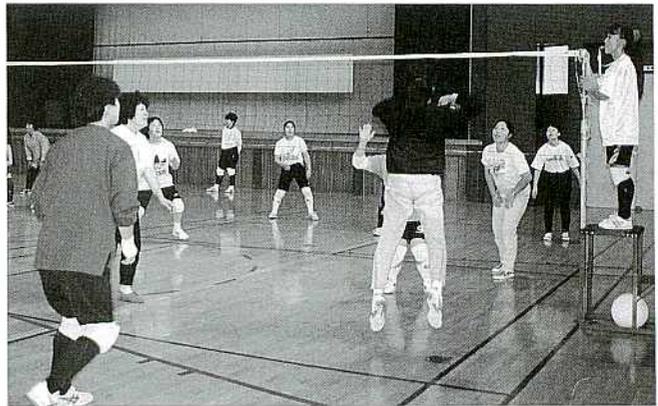
- 2日 酪対役員農協役員合同会議
- 4日 澱原馬鈴しょ出荷督励  
" てん菜振興会役員会
- 6日 中標津町農協課税対策委員会
- 13日 乳牛改良同志会役員会
- 20日 第4回管理購買委員会
- 23日 第4回営農委員会
- 24日 第5回生産委員会  
" 婦人海外研修説明会
- 25日 酪対消費拡大特別委員会
- 27日 第8回理事会  
" 黒毛和種講習会
- 30日 自治監査(11月4日まで)

## ミニバレーで交流を図る

### 管内フレッシュミセス交流会

10月27日、JA根室地区女性協主催によるフレッシュミセス交流会が、別海町スポーツセンターで開催されました。交流会はミニバレー大会となり、管内のフレッシュミセス約50人が集まりました。

各JAのフレッシュミセスが混合でチームをつくり、対戦するという形でゲームが進められ体育館には楽しい歓声が響きました。また見事なスパイクやブロックを決めるなど白熱した場面もみられ、元気なフレッシュパワーで盛りあがった交流会となりました。



心地良い汗を流したミニバレー交流会

## 見事な菊の花咲きそろろう 第14回なかしべつ菊花展

第14回なかしべつ菊花展が10月28日～31日まで町総合文化会館で開催されました。

今年の菊花展には町菊花同行会や中標津農業高校などで丹精込めて作り上げられた白、黄色、紫などの素晴らしい大輪や懸崖の菊約千点が文化会館ロビーに並べられ、訪れる人たちの目を楽しませていました。

また、会場では鉢植えの菊や野菜生産組合の新鮮野菜、いもだんごなどの販売も行なわれました。



文化会館ロビーに並べられた優美な菊の花